

〈構成イメージ〉

はじめに

«オカリブビジョン»

現状の成果と課題

2~3ページ グラフ等を入れて、20年間の総括的内容

«中期サービス目標 本文»

基本的性格

1 県民に開かれた図書館 だれもが 自由に いつでも

取組の方針（オカリブビジョン）

県立図書館は、すべての人が情報を得て社会とつながり、交流できる居場所となっています。誰もがライフステージやニーズに寄り添ったサービスを受けることができ、彩りのある豊かな毎日を送ることができます。

- 多様なニーズに寄り添ったサービスを提供します

- デジタル技術を積極的に取り入れます

- 安心できる居場所、交流できる場となります

- みなさんと一緒に、図書館をつくります

重点目標と取組

①県民のニーズに応じたサービスを提供します

略

推進目標と取組

②デジタル技術に対応したサービスを推進します

略

③居場所や交流拠点として活用されるよう、活動場所や活動機会の提供など環境整備に取り組みます

略

サービス指標

略

用語解説・コラム

略

基本的性格

2 県域の中枢となる図書館 つながる ひろがる ささえあう

取組の方針（オカリブビジョン）

(以下同様)

«巻末部分»

指標一覧

ロードマップ

目標推進について

県民に開かれた図書館

だれもが 自由に いつでも

1

県立図書館は、すべての人が情報を得て社会とつながり、交流できる居場所となっています。誰もがライフステージやニーズに寄り添ったサービスを受けることができ、彩りのある豊かな毎日を送ることができます。

取組の方針

- 多様なニーズに寄り添ったサービスを提供します
- デジタル技術を積極的に取り入れます
- 安心できる居場所、交流できる場となります
- みなさんと一緒に、図書館をつくります

中期サービス部分は単独で使えるように、また、行先を見失わないように示したいので、柱のはじめにオカリブビジョンを示す。

重点目標と取組

①県民のニーズに応じたサービスを提供します

その柱の中で、最も重視し、優先する取組を重点目標として示す。

- オンラインでの対面朗読やデイジー図書のさらなる活用を推進します。
- やさしい日本語対応の案内や館内表示、指さしシート、翻訳アプリなどを使って、外国人をはじめ日本語の理解が難しい人が利用しやすい環境をつくります。
- 障害者サービス等において県内の図書館や関係機関との連携を一層強化します。
- 手話通訳や要約筆記の導入など、イベントのバリアフリー化に取り組みます。
- 県民の多様なニーズを把握するため、未利用者の意見聴取方法の研究を進めます。

推進目標と取組

②デジタル技術に対応したガバナンスを確立・推進します

- ソーシャルメディアによる情報発信を柱ごとに推進します。取組は優先順位の高いものから順に記載し各項目3~5とします。
- 電子書籍サービスの充実化を柱ごとに推進します。

柱ごとに推進目標を2つ設定し、取組を記載します。取組は優先順位の高いものから順に記載し各項目3~5とします。

柱ごとに推進目標を2つ設定し、取組を記載します。取組は優先順位の高いものから順に記載し各項目3~5とします。

県民に開かれた図書館

1 だれもが 自由に いつでも

- 利用者登録、講座・イベントの申込み、施設利用の申込みなどの各種申請のオンライン化を進めます。
- ウェブアクセシビリティ規格への配慮など、誰もが見やすいページに改善します。

推進目標と取組

③居場所や交流拠点として活用されるよう、活動場所の整備と環境整備に取り組みます

- ゾーニングの実施や施設の修繕・改修計画を進め、ニーズに応じた利用ができる場所づくりに取り組みます。
- 大学生や高校生をはじめとする県民からの提案型企画の実施など、図書館を通した地域貢献や人との繋がりを深める機会を提供します。
- 芝生広場やエントランス、有料貸出施設について、新たな活用方法を検討します。

サービス指標

柱ごとに目標①~③に対応したものを各1計3とする

用語解説・コラム

余白があれば用語解説などをいれる。

【本文案】

<p>基本的性格</p> <p>1 県民に開かれた図書館 だれもが 自由に いつでも</p>
<p>取組の方針（オカリブビジョン）</p> <p>県立図書館は、すべての人が情報を得て社会とつながり、交流できる居場所となっています。誰もがライフスタイルやニーズに寄り添ったサービスを受けることができ、彩りのある豊かな毎日を送ることができます。</p>
<p>○多様なニーズに寄り添ったサービスを提供します ○デジタル技術を積極的に取り入れます ○安心できる居場所、交流できる場となります ○みなさんと一緒に、図書館をつくります</p>
<p>重点目標と取組</p> <p>①県民のニーズに応じたサービスを提供します</p> <p>・オンラインでの対面朗読やデイジー図書のさらなる活用を通して読書バリアフリーを推進します。 ・やさしい日本語対応の案内や館内表示、指さしシート、翻訳アプリなどを使って、外国人をはじめ日本語の理解が難しい人が利用しやすい環境をつくります。 ・障害者サービス等において県内の図書館や関係機関との連携を一層強化します。 ・手話通訳や要約筆記の導入など、イベントのバリアフリー化に取り組みます。 ・県民の多様なニーズを把握するため、未利用者の意見聴取方法の研究を進めます。</p>
<p>推進目標と取組</p> <p>②デジタル技術に対応したサービスを推進します</p> <p>・ソーシャルメディアを活用した積極的な広報を行い、図書館を利用したことがない人や利用に困難を抱える人も図書館の情報を届けます。 ・電子書籍サービスの導入に向けて、収集基準の見直しなど具体的方策に取り組みます。 ・利用者登録、講座・イベントの申込み、施設利用の申込みなどの各種申請のオンライン化を進めます。 ・ウェブアクセシビリティ規格への配慮など、誰もが利用しやすいホームページに改善します。</p>
<p>③居場所や交流拠点として活用されるよう、活動場所や活動機会の提供など環境整備に取り組みます</p> <p>・ゾーニングの実施や施設の修繕・改修計画を進め、ニーズに応じた利用ができる場所づくりに取り組みます。 ・大学生や高校生をはじめとする県民からの提案型企画の実施など、図書館を通した地域貢献や人との繋がりを深める機会を提供します。 ・芝生広場やエントランス、有料貸出施設について、新たな活用方法を検討します。</p>

サービス指標	
ホームページアクセス数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
新規登録者数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
来館者数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
用語解説・コラム	

基本的性格

2 県域の中核となる図書館 つながる ひろがる ささえあう

取組の方針（オカリブビジョン）

県立図書館は、ヒト・モノ・コトの架け橋となって、県内外の図書館等をつないだネットワークを作っています。誰もが、県内のどこにいても充実した図書館サービスを受けられ、情報へのアクセスが保障されています。

○県内の公共図書館を活性化します

○県内の図書館で働く職員を支援します

○図書館を含む関係機関とのネットワークを広げ、強化します

○県立図書館に行かなくても利用できるサービスを広げます

重点目標と取組

①県内の図書館と協働した事業の実施や図書館運営の支援により、県全体の図書館活動の活性化につなげます

・市町村図書館担当者制度や巡回相談、講師派遣制度、協力レファレンスなどを通じて、市町村図書館の運営を支援します。

・研修や実習受入、人事交流を通じて、県内の図書館職員のスキル向上とノウハウ共有を促進します。

・県内の図書館とイベントや展示を共同開催します。

・デジタルツールを活用し、図書館に関する各種データを県内の図書館職員と共有します。

・サビエ図書館の活用を一層進めるため、県内の図書館へノウハウを提供します。

推進目標と取組

②幅広い資料をより便利に利用できるよう関係機関とのネットワークを広げていきます

・県内どこからでも資料が利用できるよう、図書館等と協力し、蔵書情報と資料搬送の安定的なネットワークを維持します。

・大学図書館協議会等と情報交換の機会を設け、連携を推進し、資料提供や県内の図書館活動の活性化に役立てます。

・博物館や美術館、社会教育施設などの連携を強化し、図書館の資料・情報提供やサービス向上に役立てます。

③デジタル技術を用いて県立図書館に行かなくてもサービスを利用できる仕組みを整えます

・県内の図書館での岡山県立図書館利用者登録、インターネット予約サービス、資料相互返却サービスを進めます。

・オンラインによる受講が可能な研修や講座の実施とともに、アーカイブ化していつでも学べる機会を提供します。

・データベースや電子書籍の共同利用について、市町村図書館等と連携して研究を進めます。

サービス指標	
公立図書館における県民一人当たりの貸出冊数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末 目標値(a)
市町村担当者制度の満足度	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末 目標値(a)
他機関との連携数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末 目標値(a)
用語解説・コラム	

基本的性格

3 調査・研究センターとしての図書館 まなぶ みつける つくりだす

取組の方針（オカリブビジョン）

県立図書館は、豊富な資料と調べものの専門家である司書を通じて、身近な疑問や地域・社会の課題など、知りたい、解決したい、をお手伝いしています。誰もが、生涯学び続けられる環境の中で、自ら情報を集め活用する能力を磨き、新たな価値を創り出しています。

- 主題別部門制による司書の専門性を活かして、調査・研究をサポートします
- 身近な疑問や課題を解決して、暮らしを充実させるお手伝いをします
- 地域課題の解決に貢献して、岡山県を活性化します
- 県民の学びの成果を、新たな創造につなげる場となります

重点目標と取組

①主題別部門制に基づく幅広いレファレンスが行えるよう、司書のスキルを向上し、調査研究への支援体制の充実を図ります

- ・AI活用などの研究活動やグループ研究を通じて、県立図書館司書のスキルを向上し、質の高いサービスを提供します。
- ・県内外の図書館や県立記録資料館、県古代吉備文化財センターなど他機関との連携を通して、レフェラルサービスの充実を図り、専門性の高い調査相談に対応します。
- ・県内の図書館と連携し、レファレンスサービスの周知に取り組みます。

推進目標と取組

②暮らしや仕事に一層役立つ図書館として、県民の身近な課題の解決を支援します

- ・オンラインレファレンスの活用促進とともに、課題解決に役立つレファレンス事例を蓄積し、レファレンステーデータベースの充実を図ります。
- ・パスファインダーやブックリストなどのレファレンツールの周知とともに、更に活用しやすくなるよう工夫します。
- ・専門家や様々な機関、県庁各課などと連携し、相談会・セミナー開催、企画展示など、課題解決に役立つサービスを提供します。

③県民自らによる学習・研究を支援し、そこから得た様々な学びの成果を発表する場を提供します

- ・司書による図書館活用講座やDB活用講座などを開催し、県民の情報収集や活用に貢献します。
- ・参加者同士の交流ができる講座や学びたい人が提案して開講できる講座など、新しい課題解決の場の提供に取り組みます。
- ・県立図書館の支援による成果物等の紹介や成果発表の機会を提供し、県民の主体的な学びと創造活動を支援します。

サービス指標	
レファレンスサービスの認知度	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
オンラインレファ受付件数と満足度	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
相談会・セミナー・情報活用講座の満足度	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)

基本的性格

4 子どもの読書と学びを支える図書館 よむ はぐくみ 未来をえがく

取組の方針（オカリブビジョン）

県立図書館は、市町村図書館、学校図書館、民間団体等と連携を図りながら、子ども読書活動推進センターとしての役割を果たしています。子どもたちの誰もが、読書に親しみながら想像力と探究心を育み、夢を描くことで、自分の世界をより豊かに広げられるようになっています。

- 子どもの世界が広がる取り組みをします
- 子どもたちが自分で課題を見つけ、解決できるよう応援します
- 学校図書館などの活動を支援します
- 子育て中の人や子どもに関わる大人の活動を支援します

重点目標と取組

①子どもたちに豊かな読書体験を提供し、子どもたちの図書館利用促進と不読率の低減を目指します

子どもたちが自ら課題を見出し、解決できる力を育む環境をつくります

- ・図書館や読書の魅力を子どもたちに伝えるため、児童図書の全点購入を継続します。
- ・日本語や外国語による読み聞かせ、ストーリーテリング、学生によるおはなし会など、子どもたちが絵本やおはなしにふれる機会を設けます。
- ・PBL（課題解決型学習）の推進のために、発達段階に応じた資料を見つけやすく整理・紹介するとともに、子ども向けの調べ方講座や本の探し方講座を実施します。
- ・特別な配慮を必要とする子どもたちに読書体験の機会を提供します。
- ・司書の仕事を体験できる講座など、子どもたちに図書館を身近に感じてもらい、図書館や本について自ら発信する機会を提供します。

推進目標と取組

②学校図書館協議会等と連携協力しながら、主体的・対話的で深い学びが効果的に実施できるよう、学校図書館への支援を充実します

- ・学校司書や教員向けの研修の実施とともに、学校への図書貸出を通して、児童・生徒の読書活動や学習活動を支援します。
- ・ティーンズコーナーの運営など、学校の図書委員会など児童・生徒と連携した取り組みを通じて、読書活動を推進します。
- ・子ども読書活動推進センター機能の充実につなげるため、関係部署、関係団体とともに学校図書館支援について情報交換や協議をすすめます。
- ・特別支援学校などの司書未配置の県立学校図書館への支援のあり方について検討します。

③子育て中の人や読書ボランティア団体など、子どもに関わる大人への支援を充実していきます

- ・児童図書研究室の活用を促進するため、講座開催や周知のための情報発信を推進します。
- ・ボランティアや学生などと連携し、県内の子どもの読書に関する情報提供や読書イベントを実施します。
- ・保護者の読書相談に対応するとともに、託児サービスの導入検討など、子育て中の保護者が安心して図書館を利用できる環境の整備に努めます。
- ・子どもの読書活動に携わるボランティア人材の確保に向けて、養成講座の開催などを県内の図書館やボランティア団体と協働して行います。

サービス指標	
児童資料の貸出冊数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
学校図書館への協力貸出アンケート満足度	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
児童図書研究室の団体利用回数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)

基本的性格

5 資料保存センターとしての図書館 のこす つたえる わかちあう

取組の方針（オカリブビジョン）

県立図書館は、市町村の図書館と役割分担しながら、郷土岡山の地域資料をはじめ、様々な資料を幅広く収集し、後世にわたり活用できるよう、利用しやすく整理・保存しています。誰もが、収集された資料を用いて、文化の継承や情報の発信に役立てることができます。

- 資料を収集・整理・保存して利用に役立て、後世に残します
- デジタル技術を活用して、県立図書館の資料を誰もが利用しやすい形で共有します
- みなさんと一緒に岡山の文化や魅力を伝えていきます
- デジタル情報資源へのアクセスを保障します

重点目標と取組

①県民及び県内図書館からの資料要求に応えられるように、効率的な資料収集に努め、将来にわたり利用できるよう保存します

- ・県民への資料提供と県内の図書館の支援のため、専門書をはじめ幅広く資料を収集・保存し、受入資料は原則永年保存します。
- ・ボランティアと協力して、資料の保全やデジタル化を行うとともに、キャンペーン等を通して利用者の自発的なマナー向上を働きかけます。
- ・圏域の資料保存センターとして、郷土資料を中心に県内公共図書館等の移管資料の受入を行います。
- ・雑誌スポンサー制度やふるさと納税制度などを活用し、資料収集に役立てます。

推進目標と取組

②県民参加で岡山の歴史や文化など郷土関連資料を収集し、広く発信します

- ・県民からの郷土情報募集事業や美術館・博物館など外部機関との連携により、ボーンデジタル資料を含む郷土関連資料を広く収集します。
- ・重点収集資料である交通文化資料について、魅力ある展示や二次資料の作成により、情報発信します。
- ・岡山の歴史や文化への関心を高めるため、デジタル岡山大百科システムを使いやすく改善します。
- ・地域の活字文化の振興のため、地元書店や出版文化事業者等と連携した展示やイベントを開催します。

③デジタル化された情報に誰もがアクセスしやすくなるよう館内環境を整え、それらの情報を活用する方法についても広めていきます

- ・図書館システムや横断検索システムを使いやすく改善します。
- ・タブレット貸出やWi-Fiの整備など、インターネット上で公開された情報へのアクセスの機会を保障します。
- ・県立図書館が保有するデジタルコンテンツのオープンデータ化を進めます。

サービス指標	
貸出冊数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
県民から提供されたデジタル情報の公開点数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)
横断検索システムアクセス数	現況値(R4～R6の平均値) R 12年度末　目標値(a)

				2026	2027	2028	2029	2030	2031~2035	2035~2040	2040年の望ましい岡山県立図書館	
5本の柱	取組方針	目標	取組内容	初動期:サービス基盤の見極め					実働期:サービス基盤固め	飛躍期:オカリブビジョンの実現	未来につなぐ・ひらく・いきる」図書館	
1 県民に開かれた図書館 だれもが自由にいつでも	①様々なニーズに配慮したサービスを提供します ②デジタル技術に対応したサービスを推進します ③居場所や交流拠点として活用されるよう、活動の場所や機会の提供など環境整備に取り組みます	①様々なニーズに配慮したサービスを提供します	・障害者サービス	・オンライン対面朗読 ・デイジー図書の活用	継続・拡充					・障害者サービス専門職員の配置 ・外国語専門職員の配置 ・カウンター機能の再編 ・福祉団体等との協働体制		
				・サビエ図書館の個人利用促進	調査・研究 ・個人会員受入れ館実態調査など							
				・指さしシート(コミュニケーションボード)	活用・改善							
				・翻訳アプリの活用	調査・研究							
			・パリアフリー ユニバーサルサービス	・館内表示、看板見直し	調査・研究 ・デザインの統一、やさしい日本語、多言語、QRコード							
				・イベントのパリアフリー	実施・展開 ・パリアフリー上映会の実施 ・优先座席の確保							
		②デジタル技術に対応したサービスを推進します	・ソーシャルメディアを活用した積極的な広報		継続・展開 ・レファレンス事例紹介 ・資料紹介 ・動画による利用案内					・新HP開設 ・スマートフォンアプリの導入 ・AIを活用した図書館サービス ・仮想空間での読書案内の試行・導入 ・ICタグの検討・導入準備		
				・電子書籍	導入・展開 ・電子書籍の導入 ・電子書籍体験会							
			・各種サービスの電子申請化	・利用登録	調査・研究 ・試行							
				・研究室利用予約	導入							
				・有料貸出施設	継続・展開・拡充							
			・HPの見直し	・既存Webサイトの改善、階層の整理、わかりやすさの向上	調査・研究 ・試行					・新HP開設 ・スマートフォンアプリの導入 ・AIを活用した図書館サービスの試行・導入 ・仮想空間での読書案内の試行・導入 ・ICタグの検討・導入準備		
				・スマホ対応 ・マイライブラリー機能強化 ・システム連携	調査・研究							
			・新たな技術の研究	・スマホアプリ	情報収集・調査・研究							
				・AIを活用した図書館サービス	導入に向けた検討 システム更新準備							
				・バーチャル図書館	・スマートフォンアプリの導入							
				・ICタグ	・AIを活用した図書館サービスの試行・導入 ・仮想空間での読書案内の試行・導入 ・ICタグの検討・導入準備							
			・環境整備	・ゾーニング検討	実施・展開 ・おしゃべりエリア・自習エリア・グループワークエリア					・大規模改修・リニューアル実施		
				・設備の点検、修理	継続 ・トイレ ・おむつ交換 ・エントランス ・けやきテラス							
				・全体改修計画	調査・研究 (岡山県公共施設マネジメントの方針は2026年度まで)							
			・県民との協働	・県内大学生・高校生との協働イベントの実施	研究・試行 ・学生提案の企画 ・イベントの協働開催					・大規模改修・長寿命化準備 ・県民提案企画の実施		
				・県民との協働イベント	研究・試行 ・高校生による展示、企画							
				・民間機関との連携	調査・研究 ・図書館運営に反映させる仕組みづくり ・協働イベントの検討							
			・既存施設等の新たな活用	・芝生広場の活用 ・メディア工房の活用 ・エントランスの活用	継続・展開・拡充					・継続・拡充		
				継続・拡充 ・ボランティア活動の情報発信	継続・展開・拡充							
			・ボランティア活動	研究・試行 ・新規ボランティア(通訳、利用支援、イベント企画、イベント補助など単発ボランティアなど)	研究・試行 ・ボランティア主催のイベント開催					・ファンミーティング ・自主活動組織の結成 ・友の会		
					継続・展開・拡充							

県立図書館は、すべての人が情報を得て社会とつながり、交流できる居場所となっています。誰もがライフステージやニーズに寄り添ったサービスを受けることができ、彩りのある豊かな毎日を送ることができます。

				2026	2027	2028	2029	2030	2031～2035	2035～2040	2040年の望ましい岡山県立図書館	
5本の柱	取組方針	目標	取組内容	初動期：サービス基盤の見極め					実働期：サービス基盤固め	飛躍期：オカリブビジョンの実現	未来に「つなぐ・ひらく・いきる」図書館	
2 県域の中核となる図書館 つなぐ ひろがる さまざまあう	①県内の図書館と協働事業の実施や図書館運営の支援により、県全体の図書館活動の活性化につなげます ○県内公共図書館を活性化します ○県内の図書館で働く職員を支援します ○図書館を含む関係機関とのネットワークを広げ強化します ○図書館を含む関係機関とのネットワークを広げ強化します ②幅広い資料をより便利に利用できるよう関係機関とのネットワークを広げていきます ③デジタル技術を用いて直接県立図書館に行かなくてもサービスを利用できる仕組みを整えます	・市町村担当者制度、実習制度 ・図書館職員等研修 ・共同イベントの開催、情報共有 ・県内図書館情報の発信 ・Webでの情報提供・情報共有 ・県内図書館情報の発信 ・分野別担当者会（郷土資料、障害者サービス、児童サービス）	継続・拡充 ・市町村図書館の事業等支援 ・相談業務の充実 ・事例等県内図書館で共有・実務実習	継続・拡充 ・市町村図書館での開催 ・オンデマンド研修の充実 ・単独自治体、圏域内研修の支援	継続・拡充 ・県立図書館で実施した展示やイベント等を県内に広める ・講師やイベント情報の共有、紹介	調査・研究・試行	・人事交流 ・研修後フォローアップの実施 ・市町村図書館職員が講師となる研修の実施	展開 拡張 実装	県立図書館は、ヒト・モノ・コトの架け橋となって、県内外の図書館等をつなぎ、ネットワークを形作っています。誰もが、県内のどこにいても充実した図書館サービスを受けられ、情報へのアクセスが保障されています。			
			継続・拡充 ・図書館紹介 ・図書館活用パンフレットの作成配布 ・図書館活用講座 ・レファレンス事例紹介	継続・拡充 ・郷土出版情報 ・市町村図書館向けサイトの活用	調査・研究・試行 ・情報共有ツールの導入・グループチャット	新HP開設 図書館ポータル						
			継続・拡充 ・図書館紹介 ・図書館活用パンフレットの作成配布 ・図書館活用講座 ・レファレンス事例紹介	継続・拡充 ・郷土出版情報 ・市町村図書館向けサイトの活用	調査・研究・試行	導入・継続						
			・協力貸出 ・出張登録（出張先新規開拓） ・サービスポイントの増設 ・大学図書館協議会との連携 ・社会教育施設等との連携強化	継続・拡充 ・テーマ展示資料の貸出 ・支援用図書セット貸出の検討 ・団体貸出の検討	調査・研究 ・市町村図書館イベント ・県イベント	調査・研究・試行 県有施設、駅、病院、介護施設						
			導入・展開 ・情報交換会の実施 ・横断検索システム、相互貸借システム参加館の拡大	継続・拡充 ・図書館類縁機関の情報提供、連携展示、レフェラルサービス (記録資料館、カルチャーゾーン施設、生涯学習センター、国際交流センター、天神山文化プラザ、ウィズセンター、吉備路文学館等)	・研修への相互参加	・サービスポイントの増設						
		・資料・情報の提供 ・電子書籍（再掲） 有料データベース	調査・研究 ・複写物の電子送信サービス	継続・拡充 ・研修、講座のオンライン受講 ・研修や講座のアーカイブ化	導入・複写物の電子送信サービス	電子書籍・DBの共同利用の準備・試行	電子書籍・DBの共同利用の調査・研究					
			導入・展開 ・電子書籍の導入 ・市町村図書館での体験会	継続・拡充 ・研修、講座のオンライン受講 ・研修や講座のアーカイブ化	導入・複写物の電子送信サービス							

				2026	2027	2028	2029	2030	2031~2035	2035~2040	2040年の望ましい岡山県立図書館
5本の柱	取組方針	目標	取組内容	初動期：サービス基盤の見極め					実働期：サービス基盤固め	飛躍期：オカリブビジョンの実現	未来に「つなぐ・ひらく・いきる」図書館
3 調査・研究センターとしての図書館 まなぶ みつける つくりだす	①主題別部門制に基づく幅広いレファレンスができるよう、司書のレファレンススキル向上させ、調査研究への支援体制の充実を図ります ○主題別部門制による司書の専門性を活かして、調査・研究をサポートします ○身近な疑問や課題を解決して、暮らしを充実させるお手伝いをします ○地域課題の解決に貢献して、岡山県を活性化します ○県民の学びの成果を、新たな創造につなげる場となります	②県民の身近な課題の解決を支援し、暮らしや仕事に一層役立つ図書館を目指します	・職員のレファレンススキル向上	継続・拡充	・館内レファレンス研修 ・外部専門研修の計画的受講 ・AI活用研究	・館内ミニ講座開催	・外部専門研修の計画的受講 ・AI活用研究				
			・司書の専門性の強化	研究・試行	・人材育成計画の策定	展開			・計画の見直し		
				研究	・研究グループの在り方検討	展開	・研究発表の場の確保				
			・レフェラルサービスの強化	継続・拡充	・外部機関についての情報収集（記録資料館、県立博物館、県内博物館施設、国際交流センター、吉備路文学館等）			調査・試行	・各種機関リンク集	・新HP開設	
			・オンラインレファレンスの強化	継続・拡充	・周知と使いやすさの研究	・県内図書館等協力レファレンスの強化（専用サイト）				・新HP開設	
		③県民自らによる課題解決を支援し、そこから得た様々な学びの成果を発表する場を提供します	・ブックリスト、パスファインダー、リサーチナビ	継続・拡充	・レファレンス協同データベースへ調べ方マニュアル登録	・図書館Webサイトの見直し				・新HP開設	
			・行政機関、民間と連携した相談会	継続・拡充	・司法相談 ・空き家相談	・就労支援、子育て支援など					
			・主催講座、連携講座	継続・拡充	・連携先の拡充	・内容の充実（ワークショップ、セミナー、連続講座、少人数で多彩な講座）			・まちづくり団体、NPOセンター等との連携		
			・サービスの周知	継続・拡充	・企画展示	・特設コーナーの開設	研究・試行	・調べ方講座 ・利用者の声、体験の見える化	・利用者体験展示 ・成果物の発表		
			・成果発表の機会の提供	継続・拡充	・「図書館でやってみた、作ってみた」募集	・参加者を講師としたミニ講座開催			・成果発表と参加者交流会		
		④地域社会との連携による地域活性化	・ボランティア団体、自主サークル等への活動場所の提供と成果発表の機会提供		調査・研究				・自主講座の開催		
			・交流型講座	調査・研究・試行	・交流会・座談会	・ワークショップ	・読書会	・ピブリオバトル	試行	継続・拡充	
									・参加者による自主講座開催、サークル等活動		

展開
拡張
実装

県立図書館は、豊富な資料と調べもの専門家である司書を通じて、身近な疑問や地域・社会の課題など、知りたい、解決したい、をお手伝いしています。誰もが、生涯学び続けられる環境の中で、自ら情報を集め活用する能力を磨き、新たな価値を創り出しています。

				2026	2027	2028	2029	2030	2031~2035	2035~2040	2040年の望ましい岡山県立図書館	
5本の柱	取組方針	目標	取組内容	初動期：サービス基盤の見極め					実働期：サービス基盤固め	飛躍期：オカリブビジョンの実現	未来に「つなぐ・ひらく・いきる」図書館	
4 子どもの読書と学びを支援する図書館 よむ はぐくむ 未来を考えがく	①子どもたちに豊かな読書体験を提供し、子どもたちの図書館利用促進と不読率の低減を目指します 子どもたちが自ら課題を発見し、解決できるスキルを育む環境を作ります ○子どもの世界が広がる取り組みをします ○子どもたちが自分で課題を見つけ、解決できるよう応援します ○学校図書館などの活動を支援します ○子育て中の人が子どもに関わる大人の活動を支援します ②学校図書館協議会等と連携協力しながら、主体的・対話的で深い学びが効果的に実施できるよう、学校図書館への支援を充実していきます ③子育て中の人が読書ボランティア団体など、子どもに関わる大人への支援を充実していきます	・おはなし会 ・参加型イベントの開催 ・図書館見学の充実 ・寄付による児童用資料充実 ・中高生ボランティア ・メディア工房の活用 ・子ども向けコンテンツの開発 ・発表機会の提供	継続・拡充 継続・拡充 継続・拡充 継続・拡充 調査・研究 調査・研究 調査・研究 調査・研究	・あり方検討 ・子ども司書 ・ワークショップ型講座		・多言語対応 ・手話導入		・内容の拡充（レファレンス体験 調べ方講座） ・新規事業企画		・受け入れ方の検討 ・安定的予算確保		・新HP ・新HP ・新HP ・新HP ・新HP ・新HP ・新HP
			調査・研究	・寄付集め方法の研究 ・他館事例の研究		・新規事業企画		試行	試行	試行	試行	・安定的予算確保
			調査・研究	・子ども用オンラインレファレンスフォーム ・バスファインダー ・調べ方講座 ・子ども向けリンク集		・学習支援		ものづくり体験	導入・継続	導入・継続	導入・継続	・新HP
			調査・研究	・子ども用オンラインレファレンスフォーム ・バスファインダー ・調べ方講座 ・子ども向けリンク集		・学習支援		試行	試行	試行	試行	・新HP
			調査・研究	・特別支援学校への支援あり方検討		・正規司書未配置学校への支援体制の構築		試行	試行	試行	試行	・新HP
			研究・試行	・学校関係者との定期的な意見交換、情報交換会開催 ・支援センターあり方検討		・学校図書館支援センター機能の確立		試行	試行	試行	試行	・新HP
			継続	・児童図書全点購入 ・子ども読書に関するボランティアの養成、研修 ・保護者向け読み聞かせ講座		・保護者向け読み聞かせ講座		試行	試行	試行	試行	・新HP
		・子ども読書ボランティア活動等の支援 ・託児サービスの導入 ・連携強化 ・多世代交流	研究・試行	・学生ボランティア養成 ・ボランティア団体との連携		試行	試行	試行	試行	試行	試行	・新HP
				・託児サービスの導入		調査・研究	・子育て講座中の一時預かり等		試行	試行	試行	・新HP
				・連携強化		調査・研究	・県内図書館連携実態調査 ・保育園、児童養護施設、学童保育施設		試行	試行	試行	・新HP
				・多世代交流		調査・研究	・交流イベント		試行	試行	試行	・新HP

展開
拡張
実装

県立図書館は、市町村図書館、学校図書館、民間団体等と連携を図りながら、子ども読書活動推進センターとしての役割を果たしています。子どもたちの誰もが、読書に親しみながら想像力と探究心を育み、夢を描くことで、自分の世界をより豊かに広げられるようになっています。

				2026	2027	2028	2029	2030	2031~2035	2035~2040	2040年の望ましい岡山県立図書館				
5本の柱	取組方針	目標	取組内容	初動期：サービス基盤の見極め					実働期：サービス基盤固め	飛躍期：オカリブビジョンの実現	未来に「つなぐ・ひらく・いきる」図書館				
5 資料保存センターとしての図書館のこすつたえるわかちあう	○資料を収集・整理・保存して利用に役立て、後世に残します ○デジタル技術を活用して、県立図書館の資料を誰もが利用しやすい形で共有します ○みなさんと一緒に岡山の文化や魅力を伝えています ○デジタル情報資源へのアクセスを保障します	①県民及び県内図書館からの資料要求に応えられるように、効率的な資料収集に努め、長期的な利用に備えて保存します ②県民参加で岡山の文化や魅力を発信していく拠点を目指します ③デジタル化された情報に誰もがアクセスできる館内環境を整備し、それらの情報を活用する方法についても広めていきます	・資料購入	調査・研究 ・資料費確保 ・資料費見直しの継続的協議					・資料費見直し	・資料費見直し	県立図書館は、市町村の図書館と役割分担しながら、郷土岡山の地域資料をはじめ、様々な資料を幅広く収集し、後世にわたり活用できるよう、利用しやすく整理・保存しています。誰もが、収集された資料を用いて、文化の継承や情報の発信に役立てることができています。				
			・寄付・贈贈	調査・研究 ・ふるさと納税の周知 ・寄付集め方法の研究 ・他館事例の研究	試行 新事業企画		・30周年記念クラウドファンディング		・寄付の増加						
			・郷土資料のデジタル化推進	継続 ・ボランティアの活用 ・ボーンデジタル資料の収集 ・県民からの情報提供	調査・研究 ・デジタル化の方法検討 ・他館事例の研究 ・デジタルアーカイブ ・オープンデータ化		・システム更新		・投稿型データベース ・Web展示等使いやすさの実現 ・デジタル化資料の永続的管理提供						
			・県内図書館、記録資料館等との連携	継続 ・資料の移管収集 ・資料の管理方法や移管等情報交換など	調査・研究 ・修理ボランティアの活用		・書庫スペースの検討		・除籍基準の見直し						
			・長期保存のための対策	継続 ・書庫スペース ・施設設備更新 ・共同保存の検討	調査・研究 ・除籍基準の見直し検討		・デジタル資料への変換		・ICタグ						
			・マイクロフィルム対策	調査・研究 ・代替手段の導入検討	・ICタグの検討・導入準備		・岡山読書マップ		・岡山読書マップ						
			・ICタグによる管理	・郷土資料の寄贈促進		継続 ・寄贈資料の収集 ・機関、県民からの情報提供	・電子書籍 DBの導入活用		・オープンデータの活用	・Web展示等使いやすさの実現					
			・外部機関等との連携	継続 ・岡山文学フェスティバル ・「晴れの国おかやま検定」 ・「文学創造都市おかやま」イベント	・デジタル岡山大百科の活用		・外部情報へのアクセス確保		・ディスカバリーサービスの提供	・県立博物館、記録資料館、美術館、県立施設デジタルアーカイブ統合					
			・県民、書店、出版社との連携	調査・研究 ・県民参加による郷土資料の作製 ・イベントなどで書籍販売の検討	・県民による郷土資料紹介		・情報活用講座		展開 拡張 実装						
			・県民による郷土資料紹介	調査・研究・導入	・電子書籍 DBの導入活用		・新規導入 ・DBの周知 ・市町村図書館への情報提供、活用促進								
			・デジタル岡山大百科の活用	継続・拡充 ・オープンデータ化 ・利用促進のための図書館職員向け講座開催	・外部情報へのアクセス確保		・情報活用講座								
			・デジタルサービスの提供	調査・研究	・ディスカバリーサービスの提供		・県立博物館、記録資料館、美術館、県立施設デジタルアーカイブ統合								